

2/17 地域福祉の発展のために  
ハイコンポーネンツ青森 車いす等の寄贈

ハイコンポーネンツ青森株式会社は、地域貢献活動の一環として、鶴田町社会福祉協議会へ車いす2台と歩行器2台を寄贈しました。

同社による福祉用具の寄贈は平成24年度から毎年行われており、今回で14回目となります。購入費は社内組織の「部課長会」のメンバーの積立金を活用しています。同社は社協のニーズに合わせて寄贈品やその仕様を調整しており、利用者に寄り添った支援を行っています。寄贈された車いす等は同社協の関連施設で使用されます。



町社協に車いすと歩行器を寄贈



雪室から掘り出したりんごを運ぶ児童たち

2/17 天然の冷蔵庫 雪室りんご味わう  
鶴田小学校 雪室りんご掘り出し体験

鶴田小学校の5年生30人がりんご産業を学ぶ授業の一環で、町農家中野光彦さんの自宅敷地内を訪れ、雪室りんごの掘り出しを体験しました。

中野さんは昨年12月に9種類のりんご計約120箱分のりんごを雪の中に貯蔵していました。

体験の前に中野さんは児童たちに「昔の人はりんごに限らず、野菜の保存方法として雪室を活用してきた」と説明。その後、児童たちは高さ約3mの雪室からりんご箱を掘り出すと、あたりには甘いりんごの香りがただよいました。児童たちはさっそく天然の冷蔵庫で保存されたりんごを試食し、雪国ならではの冬の恵みを味わっていました。

2/18 新作「鶴田御膳」を味わって  
「華の会」農家レストラン

町の農家有志でつくる「華の会」が、町内産の食材をふんだんに使った「鶴田御膳」の提供を、道の駅つるたで行いました。

鶴田御膳は地元食材の魅力やおいしい食べ方を知ってもらおうと、例年この時期に提供しており、今回で7回目です。今年は油や塩分を抑えつつ、ボリュームと栄養バランスが両立する「ヘルシー御膳」を新たに開発。メニューは「根曲がり竹の炊き込みご飯」や「つがる豚の豚しゃぶ」、「タラと温野菜のホワイトソースかけ」など7品でした。



ヘルシー御膳を味わうお客さん

地域おこし  
協力隊通信

Vol.104 (筆：帯川 匠)

みなさんこんにちは。大雪のせいで毎日筋肉痛のオビカワです。冬真ただ中の2月は雪で畑に行けないため、外部で研修等に参加していました。今回は日本農業さんにお邪魔させていただいたのですが、とにかくりんごの選果機が桁違いに高性能で、りんご1個につき360度、150枚撮影しAIに判別させることで1秒間に8個のりんごを選別できるらしく、人件費の削減と作業の効率化を図っているとのことでした。レーンを流れるりんごを見ていると私も選果されてみたいと思えるほど圧巻な光景でした。

りんご繋がりにはなりますが、今年も雪室りんごのお手伝いをさせてもらいました。掘り起こして汗をかいた後のりんごは格別で、いただいた試食が足りないくらいでした。私は雪室りんごのホワイトふじが好きですが、みなさんはどの品種が好きですか？



▲りんごの選果機



▲雪室りんご掘り起こしの手伝い

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。



くす玉を割りプロジェクト完了を祝う関係者たち

## 2/21 浸水被害から3年半 治水完了へ 岩木川中流・上流緊急治水対策プロジェクト完成を祝う会

2023年度から国や県が行ってきた「岩木川流域の緊急治水対策プロジェクト」が今年6月に完了する見通しとなり、それを祝う会が町国際交流会館で開かれました。

2022年8月、県内を大雨が襲い岩木川の水位が上昇し、りんご園などが広い範囲で浸水するなど被害を受けました。それを受けて緊急治水プロジェクトとして、岩木川の約6.4kmにわたり、堤防のかさ上げや河道掘削工事が進められてきました。会では、岩木川流域の各首長や工事関係者など100人が集まり、プロジェクト完成を祝う「くす玉割り」などが行われました。

## 2/21 やさしい音色に包まれて 町子育て支援センター 育児講座

町子育て支援センター（つるた乳幼児園内）による育児講座が開催され、町の子どもたちや保護者、地域住民ら約60人が参加しました。

今回の育児講座は「オカリナの音色に包まれて」と題して、深浦町にあるめぐみこども園の本間和夫理事長が講師を務めました。

オカリナのやさしい音色で子どもたちのよく知る童謡など10曲を演奏。参加者たちはリズムに合わせて体を揺らしたり、手拍子をするなど楽しいひとときを過ごしました。演奏のお礼に、子どもたちが元気いっぴいの合唱を披露し、会場は温かな拍手で包まれました。



オカリナの音色を楽しむ子どもたち



子どもや女性も参加して盛り上がったハゲピタダーツ

## 2/22 国内外から“ハゲ”集結！ ツル多はげます会 新春の有多毛

ツル多はげます会の春の例会「新春の有多毛」が、山田温泉旅館で開催されました。

県内各地のほか沖縄県やイギリスなどから約40人が参加した例会では、穴の開いた絵から出した頭を誰の頭かを当てる「平和の光当てクイズ」や、はげ頭めがけて冷却シートを投げる「ハゲピタダーツ」が行われました。

名物の吸盤綱引きでは、18人が自慢の頭に吸盤を付けて行事の「ハゲよい」の掛け声と同時に互いに吸盤を引き合い、会場を沸かせていました。優勝したのは八戸市から参加の依田新吾さんが4度目の挑戦で、初優勝を果たしました。

# 地域おこし 協力隊通信

Vol.105（筆：葛西 忍）

協力隊の任期も残りわずかとなりました。4月からは我々夫婦の協力隊としてのミッション「スチューベン農家に就農」を達成すべく、「葛西果樹園」としてスタートをきれいな見込みとなりました。加えて鶴田町にも引き続き定住できることとなりました。これもひとえに周りの方々、町民の方々のお力添えがあってこそ、という感謝を忘れず、学ぶ姿勢を持ち続ける謙虚さ、意見やアドバイスを吸収する素直さを行動指針とし、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の実現を新たなミッションに据え葛西果樹園の経営を行って参ります。

さて、こちらのコーナーの私の担当はこれが最終回となります。「文は人なり」という言葉がときに頭をもたげ、難儀したことも数知れず。3年という長きにわたりこの駄文にお付き合いいただき誠にありがとうございました。



葛西果樹園



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。